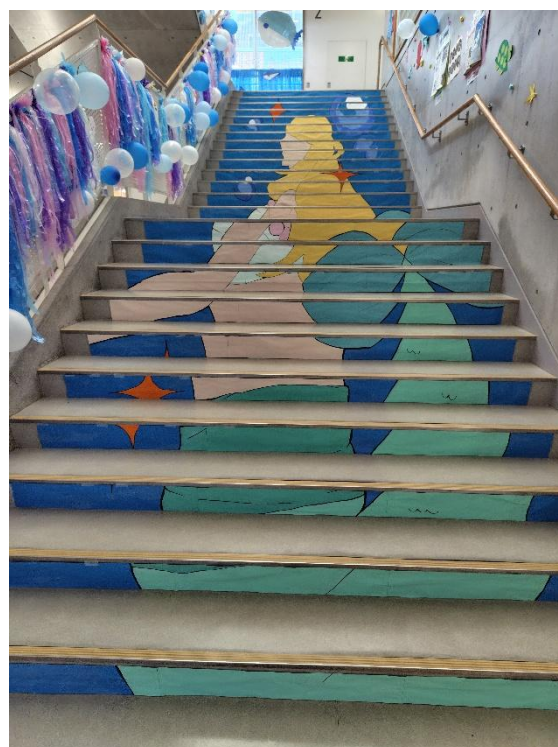




## 北中祭を終えて

### 生徒会担当教諭

屯田北中学校の学校祭（北中祭）は学級単位ではなくステージ、動画、装飾の部門ごとに活動します。そのため普段はあまり話したことがない人とも活動することになるわけですが、これがみなさんをより一層成長させたと感じています。同じゴールを目指す人たちと意見を交わし、お互いを認め合い、時にはぶつかったりする過程でコミュニケーションの能力は育ちます。「コミュカ」という言葉は一般的に自分から話しかけたりするのが得意だったり、おしゃべりが上手な人などを指して使われることが多いように思います。しかし本当の意味での「コミュカ」は、相手の意見をしっかりと聞くという力の方が大半を占めています。「あれをやりたい、これをやりたい」の通し合いだけでは本当に良いものは生まれません。今年の学校祭は各所でみなさんの「コミュカ」が発揮されたことが成功の一因だと私は思っています。コロナの時期を経ても本校に北中祭という行事が残ったのは、しっかりとした理由があるのだと感じました。最後に、各部門で素晴らしい作品を作り上げて学校祭を盛り上げてくれた生徒の皆さん、ありがとう。早くから準備を進め、スムーズなオープニングや会場を沸かせたエンディング、そして素晴らしい進行、生徒会はじめ、運営委員のみなさん、ありがとう。確実にみなさんの思い出に残る、来年につながる北中祭になりました。



# 北中祭を終えて

## 1 年生代表生徒

運営としては、照明をつけるタイミングやステージの中に行くタイミングを間違えたけど、21期・22期役員の皆さんと協力して最高の北中祭を作ることができて、本当にうれしかったです。

ステージ発表は失敗したことも多かったけど、みんなと協力してより良いステージを作れてうれしかったです。

今回の北中祭を通して、仲間との協力、考えて行動する、何事にも挑戦する大切さに気付きました。

## 2 年生代表生徒

北中祭で気づいたことは装飾・動画・ステージそれぞれどの部門でも、協力し助け合ったりすることが大切ということがわかりました。

うれしかったことはエンディングで「夏を取り戻せ！」をやったときにみんなと一緒に考えたり盛り上げてくれたりしてくれたことです。学校生活に生かしたいことは助け合ったり協力するということを普段の生活からやって3分前着席や50 ランチをしっかりとやることです。

## 3 年生代表生徒

北中祭が終わり、2日後に行われた定期演奏会で部活も終わってしまい、とても疲れた。夏休み後半から北中祭と定期演奏会の最後に向けて頑張ってきたから無事に終われて、嬉しい。寂しい。頑張ってきて良かったと思う。

3年のステージ・動画・プラスワンは感動した。動画は何を言いたいのかよくわからなくなってしまうがちだけど、3年の動画は伝わってきて「さすが」と思った。ステージは面白かった。見てて楽しかった。プラスワンは体を張って頑張っていてすごかった。盛り上がった。すごく楽しくて、みんなが頑張っていたから、また3年でこんな体験をしたい。

